

(評価)対象年度	令和 6 年度
編 成 区 分	当初
記 入 日	R5.9.15

振興計画事業シート 事務事業評価【事前】シート

担当課	建 設 課
課長名	畑 下 幸 治
担当者	川 田 成 一

対象事業名(事業番号)	道路網図電子化業務委託事業	(1016)
-------------	---------------	--------

会計の選択	一般会計	ハード・ソフト・維持等の選択※2	ハード
新規・継続事業の選択	新規	政策評価の選択	評価対象(新規)
単独・補助・県営事業の選択※1	単独	総合戦略の選択※3	まち(重点③)
第2次総合計画の位置付け (体系表を確認し選択して下さい)	基本姿勢	3.	にぎわいを創る「交流のしま」
	分 野		—
	政 策	3-2.	しまを支え利便性を高める交通基盤づくり
	基本施策	3-2-①	地域特性に応じた安全で快適な道路整備

事業期間(選択)	単年度事業				継続事業の場合		年度 ~	年度
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
事業費(千円)	4,700							4,700
国 費								0
県 費								0
起 債								0
そ の 他								0
一般財源	4,700	0	0	0	0	0	0	4,700
補助金等名※4							補助率	

事業の目的 (誰を対象に、どの様なやり方で、どの様な効果をえようとしているのか)	道路台帳の図面、網図及び属性等を現在全庁で使用する地理情報システム(GIS)に搭載することにより、通常業務はもちろんのこと、非常災害時等における利便性の向上や情報の共有化を目指す。あわせて、庁舎被災による紙台帳及び庁舎HDDの消失に備え、GIS搭載により台帳データをGIS事業者データセンターへ保存することで台帳データのバックアップを図る。
事業の概要※5	◆全体事業計画又は事務フロー 道路台帳図・網図等の地理情報システムへの搭載 ・本庁で運用中の地理情報システム(GIS)へ台帳等の情報を搭載。 ・情報搭載後の修正等は基本的に担当課において行う(予定)。 ◆当年度事業計画 12節 委託料 4,700千円 道路網図電子化業務委託
その他 特記事項	

事業の必要性 (現状における問題点、その要因、今後の課題)	現在、道路台帳は紙台帳やPDFファイルで管理している。これをGISにデータ搭載することで管理・検索・閲覧をより容易化できる。 現行のGIS集成図(写真付き)に路線網図を重ねて表示が可能となり、路線の位置情報をより視覚的に把握することが容易となる。 GISシステム搭載により、万一庁舎が被災し紙台帳や庁舎HDDが消失してもデータバックアップが可能(GIS事業者データセンターへデータ保存)。 本町GISの運用方針及び道路台帳の管理等方針の調整が必要ではあるが、技術上は道路台帳データを庁舎内で閲覧可能となるため、当課のみならず全庁各課の業務の用に供することも見込まれる。
----------------------------------	---

成果(活動)指標	指標(単位)	GISシステム搭載路線数/全路線数(%)				
	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度以降
	目標値	100				
	成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、町道の全路線数に対するGISへの搭載路線数の割合を事業進捗率とし、成果目標とした。(R5.4.1現在町道路線数…1,376路線)				

2次評価	事業の方向性	採択	所管案のとおり	事業のやり方改善	事業規模拡大	
		● 不採択	● 企画不十分	事業規模縮小	事業統廃合	その他
		一部不採択	企画不十分			
	評価理由	道路台帳などをデータ化することで、業務の効率化や高度化が実現し、全庁でGISシステムの活用も見込めるため事業の実施は適当ですが、道路台帳だけでなく庁舎全体で同様のシステム化について検討ください。				

3次評価	住民等の意見	
	町の対応	